



かゆいだけではありません!



デング熱は人から人へは感染しません。

デング熱の原因となるデングウイルスは、デング熱に感染した人の血を吸った蚊(日本ではヒトスジシマカ)の体内で増え、その蚊がまた他の人の血を吸うことで感染を広げていきます。感染してもすべての人に症状がでるわけではありませんが、高熱や関節の痛み、目の奥が痛くなるといった症状が一週間から二週間ほど続きます。冬になると蚊が減ることからデング熱の発生も減りますが、翌年また流行することもあるので、いつでも蚊に刺されないように注意する、そんな習慣を身につけることが大切です。

蚊の用心。ひと刺し用心デング熱。

8月22日の施設公開に伴う蚊の調査結果について

当輸入食品・検疫検査センター敷地内において、事前及び当日に蚊の捕獲調査を実施しましたのでお知らせいたします。

調査日：8月14日

ヒトスジシマカ：10個体

デングウイルス：陰性

調査日：8月22日

捕獲なし

